

# 川越祭りごみ対策



川口啓介一般質問より

議員になる以前より、ボランティアとして川越祭りでごみ拾いを続けていた私が、初めてこの問題を一般質問で採り上げたのは19年の9月議会でした。

川越祭りに行ったことのある方ならお分かりだと思います。あの混雑の中、屋台で買った食べ物の容器や食べ残しを長時間持ち歩くのは大変です。まして県外から来る観光客に対して、ごみ箱も設けずに満員電車の中を「持って帰れ」では、祭りを楽しむ余裕も、おみやげを買う気も無くしてしまいます。ところが、川越市で用意するごみ箱はたった7箇所。しかも、満足な周知もされず、多くの人がごみ箱の存在にすら気付かないことでしょう。そんな状況を踏まえ「ごみはお持ち帰り下さい」の一辺倒でなく、お祭りのような特別なイベント時には数多く臨時のゴミ箱を設け、そこへ誘導し、分別して捨ててもらえるようきちんと周知する必要があると訴えました。

**19年9月の部長答弁** . . . ごみ箱の増設についても十分検討してまいりたい。



そして21年の川越祭りでも、いつものようにボランティアとしてごみ拾いをしながら、前回の問題がどれほど改善されているか状況を見ますと、これが一向に改善しておらず、ごみ箱の数も1つとして増えておらず、十分な周知もされていませんでした。

そこで再度調査し、いくつかの自治体担当者からお話を伺った他、全国のお祭りに店を出しているある露店商グループの責任者の方にもお話を伺いました。露店商の方からは、「他の自治体では各露店にごみ袋を配り、定期的に臨時のごみ集積所に持っていく方式をとっている。やっていないのは川越くらいだ」との指摘を受けました。それを見て21年12月の議会では、川越でもそのやり方ができないのか。また、川越祭りのようなイベント時には観光客がごみを持ち歩かなくても済むよう、ごみ箱を増やし、場所を周知し、そこに誘導する必要がある、など新たな提案も合わせ、再度、市の方針を尋ねました。

**21年12月の部長答弁** . . . 来年以降ごみ箱を増やすと共に、パンフレットや看板等で周知し、ポイ捨てすることなく早めにごみ箱に捨てて頂けるようにしたい。また、川越露店商組合とも協議していきたい。



19年度の「十分検討する」との答弁も、結果は何も変わりませんでした。今回の答弁で今年どう変わらのか、本当に道路にポイ捨てをしなくて済む状態になるのか皆さんも注目して下さい。19年度の「ボランティアへ積極的に協力を働きかける」との答弁も、昨年度、市からの呼びかけは一切ありませんでした。『市民との協働』は未だスローガンです。観光地として恥ずかしくない積極的な取り組みを期待します。

## より使いやすいホームページへ 川口啓介一般質問より

市の公式ホームページ（以下 HP と表記）については20年の9月議会の一般質問でいくつかの提案をし、今年度始めのリニューアルを経てだいぶ見やすくなりましたが、さらに使いやすいHPを目指して、何点か気になるところについて質問しました。川越市のHPは各部署でそれぞれ作成・更新することになっています。しかし、それゆえに各ページに質の差ができ、使いづらいページになっています。しかし、その改善にも縦割り行政の壁が立ちはだかっているように感じます。

現状



- 市としてHP作成の体制が弱い
- 各ページの質の差が大きい
- アップ後に各ページのチェックをする体制が整っていない
- バナー広告欄は平均して4割の空きがあるが、営業をしたことがない
- QRコードが市の発行物にあまり掲載されていない。
- 外部サイトへのリンクが不十分
- 職員への研修体制が不十分



\* これがQRコード

右面へ